

## (1) 保存地区の概要

地区名	室戸市吉良川
種別	在郷町
面積	約18.3ヘクタール
選定年月日	平成9年10月31日
特徴	室戸市吉良川町重要伝統的建造物群保存地区は、旧土佐街道に沿った地区「浜地区」とその北側の微高地に展開する地区「丘地区」の2つの性格の異なる地区が見られる。浜地区には土佐漆喰による塗屋造り、水切り瓦や煉瓦を用いた「つし2階」の町家が建てられ、丘地区には軒を低く抑えた平屋建てに「いしぐろ」と呼ばれる石塀を屋敷周囲に巡らせた農村的な民家を見ることができる。



## (2) 保存地区のあゆみ

平成6年7月 (1994)	伝統的建造物群保存対策調査着手	平成23年 (2011)	拠点施設「まちなみ館」設計開始
平成8年10月 (1996)	室戸市伝統的建造物群保存地区保存条例が制定される	平成24年 (2012)	伝統的建造物群保存地区選定15周年記念行事「まちなみ館」建設
平成9年10月 (1997)	重要伝統的建造物群保存地区に選定される	平成25年 (2013)	町並み保存会がNPO法人に
平成12年 (2000)	町並み駐車場及び公衆トイレ建設	平成28年 (2016)	吉良川町まちなみ保存対策見直し調査着手
平成14年 (2002)	伝統的建造物群保存地区選定5周年記念行事	平成28年 (2016)	拠点施設等3箇所に案内看板を設置
平成19年 (2007)	伝統的建造物群保存地区選定10周年記念行事	平成29年 (2017)	伝統的建造物群保存地区選定20周年記念行事地区に案内アプリ「とさブラ」を導入

(3) 保存地区の保存と整備

○保存修理事業

平成6年度～平成29年度

修理 75件

修景 28件

平成26年度 修理 1件（1棟）

修景 1件（1棟）

平成27年度 修理 2件（2棟）

修景 1件（1棟）

平成28年度 修理 2件（4棟）

修景 1件（2棟）

平成29年度 修理 4件（4棟）

修景 2件（3棟）

平成27年度 修理  
(修理前)



(修理後)



平成28年度 修理  
(修理前)



(修理後)



平成29年度 修理  
(修理前)



(修理後)



## (4) 保存地区の活用とまちづくり

## (土佐備長炭)



吉良川の現在の町並みの形成に大きな影響を与えたものに、祭りがある。2年に1度行われる御田（おんだ）祭り、毎年秋に行われる神祭、いずれも古くから伝わる祭りで、吉良川の文化、歴史にとっては大変重要な要素といえる。

また、吉良川の経済的繁栄を支えてきたのが土佐備長炭の生産である。昭和30年代後半から一旦は衰退した備長炭作りだが、現在は地域産業の継承に若い世代も積極的に取り組み始めており、再び土佐備長炭の生産は、吉良川の町づくりの重要な役割を果たしつつある。

## (御田祭り)



## (神祭)



## （５）住民等の取り組み

吉良川町並み保存会が中心となり、毎年3月に「ひなまつり」が、伝建地区で行われる。

家々の玄関先や、通りに面した旧店舗の座敷など、いたる所に華やかな雛人形が飾られ、町中が雛人形、花、のれん、と春の吉良川を華やかにする。地域住民も、高齢者から子どもたちまで、みんながいきいきとこの春の祭を楽しんでいる。「ひなまつり」以外にも、「七夕」、「ふるさと市」、「飛脚レース」など、町並みを舞台に様々な行事で町並みを賑わせる。

さらに、近年取り組みを強化しているのが、「吉良川放課後子ども教室」の子どもたちとの連携である。吉良川の町並みを将来継承していく子どもたちに、自分達の町の良さ、重要さを知ってもらうことで、郷土愛を育み、長く町並みが継承されることは重要である。地元の子どもたちが様々な活動を通して吉良川で活躍することは、地元の大人たちの活動にもつながり、町の活性化にも重要な意味を持つ。さらに子どもたちと連携、取り組みを続けていきたい。

この数年、高知県建築士会のヘリテージマネージャーとの連携も進めている。平成28、29年度に実施した「吉良川まちなみ保存対策見直し調査」を業務委託し、吉良川の調査をはじめ住民とのつながりもできつつある。ヘリテージマネージャーが伝建地区に関わることで、今後も吉良川重要伝統的建造物群保存地区が長く継続、保存されるよう、取り組んでいきたい。

（ひなまつりの雛人形）



（子どもたちの町並みガイド研修）

